

令和5年度（2023年度） 「地質調査技士登録更新講習会」報告

技術委員会

令和5年度の東北地区の地質調査技士登録更新講習会は、令和5年11月9日（木）に「仙台国際センター」で開催されました。今回は新型コロナの5類移行により4年振りにコロナ禍以前の形態に戻して開催いたしました。

登録更新は、平成25年度から①登録更新講習会により更新する方法と、②CPDの取得による更新の何れかを選択する方法があります。今年度東北地区では、講習受講者257名（CPDによる更新者は13名）でした。

講習は、テキストの内容に併せて第Ⅰ編から第Ⅳ編の4つの講義が実施されました。第Ⅰ編の「地質調査業について」では、「地質調査の領域」「地質調査業の市場動向」「入札・契約に関わる諸制度」「地質調査業をとりまく新たな社会・技術動向」「地質情報の電子化・利活用に関する動向」などについて説明がなされ、業界を取り巻く環境の変化と入札・契約制度及び個別制度の変遷について説明がありました。また、トピックスとして「国土交通省データプラットフォームのアップデート」「BIM/CIM活用業務の積算基準」「情報共有システムとオンライン電子納品の活用」「地質調査業のはってんに向けたビジョン」について紹介がなされました。

第Ⅱ編の「地質調査技術者について」では、「地質調査技術者の職務分野と資格制度」「地質調査技術者の技術者制度と教育システム」「技術者と倫理」について説明がなされ、技術者の資格制度では地質調査技士・地質情報管理士・応用地形判読士の概要説明と、トピックスとして「国土交通省登録資格との組み合わせ加点」が紹介されました。地質調査技術者の職務分野と資格制度では、APECエンジニアについての概要説明と、土質・地質技術者生涯学習協議会による「CPDを活用した更新制度」の説明や、全地連が一般向けにわかりやすく作成し

た地質調査技術者のPR動画の掲載について紹介がありました。

第Ⅲ編の「調査ボーリングの基本技術と安全・現場管理のレビュー」では、ボーリング調査の役割、ボーリング調査に関する基本技術（仮設、掘進技術、孔内試験等）・安全及び品質管理の目的・方法・留意点の再確認を行うとともに、安全管理の取組み事例についての説明がありました。

第Ⅳ編の「調査ボーリングの周辺技術動向」では、「土壌汚染調査」「物理探査」「地盤材料試験」について説明がありました。土壌汚染調査では、土壌汚染対策法、有害物質に関する基礎知識、土壌・地下水汚染調査の進め方について説明がなされました。物理探査では探査の種類および活用、物理探査の注意点の説明がありました。地盤材料試験では試験の重要性、留意点、品質向上への取組みについて説明がありました。



登録更新講習会の受講状況

本講習に用いた令和5年度版テキストは、最新の技術動向が反映されたものとなっております。地質調査技士としての技術の研鑽に引き続きご利用頂けるようお願いいたします。

丸1日という長時間にわたる講習会が、受講者の皆様のご協力のおかげで無事に終わることができました。技術委員・事務局一同、心より感謝申し上げます。